



令和4年8月25日

加盟協会各位

公益社団法人 日本カーリング協会
強化委員長 柳 等

WCF チームランキングの計算方法の変更について

令和4年8月12日に世界カーリング連盟より発表されました、WCF チームランキングの計算方法の変更について別紙の通りお知らせ致します。

以上

本件に関するお問い合わせ先

〒160-0013 新宿区霞ヶ丘町4-2 ジャパンスポーツオリンピックスクエア 504

公益社団法人 日本カーリング協会事務局

TEL: 03-5843-0371 (対応時間: 平日 10:00~18:00)

E-mail: info@curling.or.jp

<https://worldcurling.org/2022/08/wctrs-review/>

<WCF チームランキングの変更適用について>

WCF チームランキングシステムのワーキンググループが、ポイント表の現行基準を最近見直しました。

ワーキンググループでは、現在のランキング表が正確なトップレベルのチームの評価を反映していると合意しています。シーズンを通して、早い段階で行われる大会の時期によっては若干の変動があるものの、全体的にはチームをランク付けするという意図通りに機能しています。

ただし、シーズン終盤に行われる大会（世界選手権やプレーヤーズ選手権）で得たポイントは（10月までにチームランキングの計算から除外され始めるので）5ヶ月間しかポイントが維持されないのに対し、シーズンの9月や10月に行われる主要な賞金大会やツアー大会は、得たポイントがそのままの価値で1年間有効となっている、という問題点があります。

この問題点を一定程度緩和するため、前年に得たポイントについて月毎に減っていくというシステムが設けられましたが、今シーズンから更なる変更が提案されています。

変更点：大会基礎点（Strength of Field）の係数計算

1. トップクラスの国際大会（五輪、世界選手権、グランドスラムの大会）はエントリーするチームに関わらず固定の大会基礎点係数とすべきである。
 - これにより、もっとも注目を集める大会に最も多くの世界ランキングポイントが割り当てられるようになる。
2. 各加盟協会の国内選手権と地域選手権（ECC と PCCC）は引き続き、改良された重要度係数を使って合計ポイントを予め定めない形での大会基礎点の係数計算を行う。この係数は上限を9.0とする。
 - これによりそれぞれの国内選手権が、WCFの加盟協会によって大会基礎点が大きく異なるということを反映して正確なポイント合計となる。
3. ツアーの賞金大会は、トップクラスの大会を超えない範囲で大会基礎点係数の最大値が定められるべきである。
 - これにより、シーズン最初の大会で多くのトップチームが（試合に慣れていくために）出場する場合に、大会の価値が意図せず世界選手権やグランドスラムと同じレベルに引き上がることはないようにする。
4. ツアーの賞金大会の大会基礎点係数は、イベントが始まる前に算出された上で切り捨て計算される。例えば大会基礎点係数が4.25と算出されたら4.0の大会基礎点イベントとなり、5.76と算出されたら5.0の大会基礎点イベントとなる、など。
 - 小数点2桁まで使うという正確性を犠牲にする代わりに、よりわかりやすくなりチームにとって年間のスケジュール計画を立てやすくなる。この変更は、例えば大会基礎点が4.25と4.80の大会で、チームにとってのわかりやすさを犠牲にするほどにはそんなに相対的な違いはないだろう、ということで決定された。
5. ツアーの各賞金大会は、1年ごとに（最低限の範囲内で）比較されていく。例えば、あるツアー大会が1年目に大会基礎点係数が5.0だった場合、翌年には大会基礎点は下がるにしても4.0、上がるにしても6.0の範囲内とする。
 - 1年で大会基礎点係数が上下1点の範囲でしか動かないことで、チームにとっては参加しようと思う大会の最低限の大会基礎点を知ることができてスケジュールを立てやすくなる。また、大会基礎点が前年からいきなり跳ね上がってしまった大会を見逃してしまうというサブライズも起きなくなる。

- 2022-2023 シーズンが、翌シーズンの大会基礎点係数を決めていく基準として最初の年になる。
6. 全ての計算から賞金額の要素を外す。
- 過去には、大会基礎点係数の決定過程で、ポイントを増やすために賞金額を増やすよう各大会に動機付けるような試みもあったようだが、毎年毎年当てはまるものでもない。

その他の計算はこれまでと同様です。

固定のポイントを持つ大会の計算

大会基礎点：2022-2023 シーズンで固定のポイントを持つ大会	
世界選手権	10.0
グランドスラム：プレーヤーズ選手権	10.0
グランドスラム：マスターズ、ナショナル、オープン	9.0
グランドスラム：ツアーチャレンジ&チャンピオンズカップ	8.0
大会基礎点：2022-2023 シーズンのツアー賞金大会	
ツアー賞金大会の最大値	7.0
特別な大会やプレーオフでの重要度係数	
国内選手権	65%～最大で(大会基礎点が)9.0
ヨーロッパ選手権とパンコンチネンタル選手権	65%～最大で(大会基礎点が)9.0
プレーオフの順位基準点	
1 位	7.50
2 位	5.50
3 位/4 位 (3 位を決めない場合)	4.25
5 位～8 位	3.00
3 位を決める場合	
3 位	4.25
4 位	3.00

変更点：計算に含める大会上限数の更新計算と前年のポイントの減少

2022年五輪までの4年サイクルの終わりに伴うチームラインナップの大幅な変動で、今年はポイントの順次入れ替えシステムが適切に機能しません。選手ごとに52週間単位でポイントを入れ替えていくことは理論上は可能ですが、計算が大変複雑になってチームやランキング表利用者にとって（正確性を大幅に上げることなしに）理解することが非常に困難になってしまいます。

1. チームにとって「ベストな8大会」ができるだけ考慮されるように、計算に含める大会上限数の更新カレンダーと、それに合わせた前年ポイントの減少が設定される。
 - 例えば、あるチームが2022-2023シーズンを新たにメンバーが代わったチームで240ポイント（前年のベストな8つの大会）でスタートとする。平均して、計算に含める大会1つあたり30ポイント（8大会で240ポイント）得ていることになる。
 - 各イベントは合計に対しておおよそ12.5%（8分の1）の比率となる。
 - したがって、シーズン中に計算に含める大会の枠が空いていくたびに、前年のパーセンテージが12.5%単位で減っていく。
 - 例えば、計算に含める大会が4つになると、前年のポイントは $12.5\% \times 4 = 50\%$ 分減る。

より一層の簡素化のため、2022-2023シーズンからの計算に含める大会上限数の更新カレンダーと前年のポイントのパーセンテージは以下の通りです：

- 2022年8月1日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は0で、前年のポイントは100%
- 2022年8月2日～10月4日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は2で、前年のポイントは75%
- 2022年10月5日～10月30日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は3で、前年のポイントは62.5%
- 2022年11月1日～12月6日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は4で、前年のポイントは50%
- 2022年12月7日～2023年1月3日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は5で、前年のポイントは37.5%
- 2023年1月4日～1月31日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は6で、前年のポイントは25%
- 2023年2月1日～2月28日＝今シーズンで考慮に入れる大会数は7で、前年のポイントは12.5%
- 2023年3月1日～シーズン終わり＝今シーズンで考慮に入れる大会数は8で、前年のポイントは0%

特別な大会に対する変更点

シングルエリミネーション（通常のトーナメント形式）の大会も、他の要件を満たしていれば（8エンドもしくは10エンド、5ロックのフリーガードゾーン）可能な大会形式に加える。

シングルエリミネーションでは25%のチーム（8チームのシングルエリミネーションなら2チーム、16チームのシングルエリミネーションなら4チーム）が順位基準点を得る。

計算の際、大会基礎点係数は25%分減らす。

5人チームでの年度末計算の変更点

5人構成にしたいチームに対して、2023-2024シーズンに向けて年度末ポイントが付与される上でのより一層の柔軟性を持たせるために、チームはオンアイスでの実情やチーム編成に基づいてポイント内訳をお互いに宣言することができる。チームは2023年2月1日までに、各選手の年度末ポイントの割り当てについて以下の選択肢（それぞれチームポイント100%の割り当て）の中からチームの意図を宣言しなければならない。

5人ともローテーション

- 各チームメンバーがチーム合計ポイントの20%ずつを持つ
- 20% / 20% / 20% / 20% / 20%

フロントエンドをローテーション

- スキップとサードがチーム合計ポイントの25%ずつを持ち、ローテーションしているフロントエンドの選手がチーム合計ポイントの16.67%ずつを持つ
- 25% / 25% / 16.67% / 16.67% / 16.67%

1人のプレーヤーだけローテーション

- 3人の選手がチーム合計ポイントの25%ずつを持ち、ローテーションしている2人の選手がチーム合計ポイントの12.5%ずつを持つ
- 25% / 25% / 25% / 12.5% / 12.5%

多くの試合を4人でプレーするチーム

- 2人の選手がチーム合計ポイントの25%ずつを持ち、2人の選手がチーム合計ポイントの20%ずつを持ち、フィフスの選手がチーム合計ポイントの10%を持つ
- 25% / 25% / 20% / 20% / 10%

スキップは固定でそれ以外をローテーション

- スキップがチーム合計ポイントの25%を持ち、4人のチームメンバーでチーム合計ポイントの残り75%を分ける
- 25% / 18.75% / 18.75% / 18.75% / 18.75%

これらの選択はチーム登録に含まれ、確実に意図した内容で登録ができているかをWCFチームランキングシステム事務局がチェックする。

WCFチームランキングシステムのランキング表については、以下リンクを参照のこと。

<https://worldcurling.org/teamrankings>